

福臨技企画 1

「“New Normal” 新たな時代を迎えて～新型コロナウイルス感染下における技師会活動の今後～」

新型コロナウイルスへの対応と技師会活動

◎花牟禮 富美雄¹⁾

独立行政法人地域医療機能推進機構 宮崎江南病院¹⁾

新型コロナウイルス感染拡大により、私たちの生活は一変した。技師会活動への影響も大きく、宮崎県臨床検査技師会（以下、宮臨技）でも、困難に直面し、出来る限りの活動を継続してきたので報告する。

<定時総会の開催>

2020年度は、書面表決書の提出を会員にお願いし開催することとした。会場は宮臨技事務所としたが、参加者の安全を考慮し、最終的には屋外で開催した。出席者は6名、それ以外は書面表決397名（総正会員数490名）で、定款の変更も無事に行うことが出来た。2021年度、2022年度は、書面表決書の提出をお願いするとともに電子的議決権の行使も可能として、Zoomを用いてWEBで開催した。

<理事会運営>

新型コロナウイルス流行初期は理事会の開催が困難で、メールでの協議と書面決議になることを予想した。宮臨技の定款に、理事会の決議の省略をする旨の規定が無く、定款の変更を行った。その後は、Zoomのライセンスを取得し理事会を開催出来るようになった。

<公益事業>

これまで参加していた「みやざき健康ふくしまつり」は開催が見送られた。日臨技の全国「検査と健康展」も2020年度は開催を見送ったが、2021年度は中央会場を担当することとなり、参加者数の制限、事前受付制、また、WEBも併用して現地で開催することが出来た。

<学術事業>

研修会は、Zoomを用いたWEB研修を行なっている。2020年度は、WEB（3研修会）、集合（1研修会）、2021年度は、WEB（23研修会）を実施し、11月に開催した「宮崎県感染症・微生物検査セミナー」は会場に参加者を集め、また、Live配信も行った。

<県学会の開催>

2020年度は日臨技九州支部医学検査学会を担当し開催する予定であったが中止。2021年度は県学会の開催を見送り、2022年5月、WEBで開催した。

<With コロナの活動>

WEBは何処に居ても参加可能であり、参加するための移動距離と時間は縮まったが、人と人との距離は遠くなったように感じる。WEBの利点は活かしつつ、直接会って対話できる機会を増やすことは今後の技師会運営にとって重要と考える。